H27. 11. 27(金) 川崎区車座 意見·提案内容

No	意見・提案内容
1	企業による出前授業の効果についてどのように受け止めているか。
2	中学校給食導入について、未来を担うこどもたちへ食育、地産地消および共働き世帯をサポートする上でも必要であると感じている。 上記のほかに、家庭と同様に中学校においても、同じメニューをクラスメートと一緒に食事をすることにより、自身の嫌いなものも食する、残さない様にする、クラスの一体感も醸成されるのではないかと思われるが、どのように考えているか。
3	次世代を担う子どもたちが、大人になること、社会で働くこと、家庭を築いていくことなどに希望を持って進んでもらいたいと思っている。 様々な大人と出会い、関わり、地域でのボランティア活動や職場体験を通し、社会の状況を知るとともに、自分の生き方を考える機会にしてもらいたいと思う。 そのためにも、本日行った出前授業や、現在運営団体が増えつつある「寺子屋事業」等、地域の大人が関わる場面では、子どもたちに有意義な時間を提供する必要があると思う。 そして、前向きに生きていけるために、自己肯定感を持たせてあげられるような、接し方や言葉がけが大切であると考える。
4	今年2月に全国的にニュースとなった少年事件が川崎市で起きた。事件を受けて市や教育委員会はどのような取り組みをしているのか。今後の対策など、具体的になっていれば教えてほしい。
5	川崎駅北口の開発が現在の人通りに比較して、かなり大掛かりに思える。どのような展望を想定しているのかお聞きしたい。
6	川崎駅周辺は、再開発が進み街並みや道路等の環境が向上しつつあるが、依然としてごみのポイ捨てや、放置がしてあり不衛生な場所がある。 使う人のマナーの問題が大きいが、川崎駅のイメージにもつながるため、更なるクリーン作戦などの構想はあるのか。
7	○ 南部線支線の浜川崎線に新駅「小田栄駅」ができる予定とのこと。それに付随して、駐輪場が駅の小田側にしか確保されていないということで、反対側から駅に自転車で来る場合、当然ながら自転車での踏切横断が増えることになり、安全を心配する声がある。踏切の安全をどのように確保するのか、対策案を聞きたい。 ○「川崎」はこれからも住みたい町、住んでみたい町「川崎」にするためには、ゴミの問題や不法投棄の問題をどうするか課題である。特に、2020年にむけて、東京に隣接する川崎市として知名度・イメージアップには絶好のチャンスを迎えている。 ・国道15号線沿いの不法投棄や周辺を寝床にしている方(痕跡あり)に対する対応策・東扇島の不法投棄とゴミ対策(東扇島西公園、海釣り公園の利用者の導線でもあり、また、東扇島に水江町から橋がかかりロケーションも変わるため)など、改善に向けた対応策の検討がなされていれば聞きたい。現時点での具体案がなければ、今後の対応方向についての考えを聞きたい。

No	意見・提案内容
8	・川崎区はアクアラインで千葉県への交通アクセスがしやすいことを含め、道路、バス、電車などの交通網が発達している印象を持っている。一方で、京急大師線沿いなど交通渋滞が多く発生している印象もあるので、今後の改善計画にとても期待しており、構想などがあれば教えてほしい。 ・川崎駅には分煙エリアが設けられているものの一部の方のマナーが悪く、駅前にごみやたばこの吸い殻が落ちていることが多い。小さな子供が下に落ちているものを拾ったり食べたりする可能性もあるので、マナーの改善を促すような対策をとってほしい。
9	自転車専用道路の整備を進めてほしい。 川崎区幸区辺りは平地ということもあり自転車が非常に多い。普段川崎市内を自動車で走っていてヒヤリとしたことが何回かある。 駅前など自転車専用道路になっている箇所も非常に多いため、前向きに進められているとは思うが今後も自転車と自動車が安心して走れる町づくりを進めてほしいと思う。また、小中学校で自転車マナー教育などを積極的に開催していただくと更に安全・安心につながると思う。
10	・在勤市民から見た川崎市の印象について ・通勤を通じて見た川崎市について ・次世代のキャリア意識の醸成について
11	大師地区は、羽田空港にも近くオリンピックの開催も予定されており、今も少しずつ外国人観光客が増えてきている。 川崎市として観光振興面で大師地区の展望があれば聞きたい。
12	① 川崎市が他都市に比べて優れているところはどこにあると考えているか ② 川崎市をどのように国際的に位置付けるか ③ 市民参加のまちづくりの推進への期待